

佐賀県 肝疾患センター

さが肝.net

平成25年度 看護師向け研修会



地域における拠点病院の役割



佐賀大学医学部附属病院 肝疾患センター

泉 夏美

ホームページ

さが肝.net

検索

<http://saganikan.med.saga-u.ac.jp/>

さが肝.net

本日の内容

- 1 : 肝疾患における地域連携について
- 2 : 肝疾患診療連携拠点病院の役割
- 3 : 佐賀県での顔の見える地域連携の取り組み
- 4 : 拠点病院で働く看護師の役割

本日の内容

- 1 : 肝疾患における地域連携について
- 2 : 肝疾患診療連携拠点病院の役割
- 3 : 佐賀県での顔の見える地域連携の取り組み
- 4 : 拠点病院で働く看護師の役割

全国の肝炎ウイルスキャリア数

B型肝炎	110～140万人
C型肝炎	190～230万人

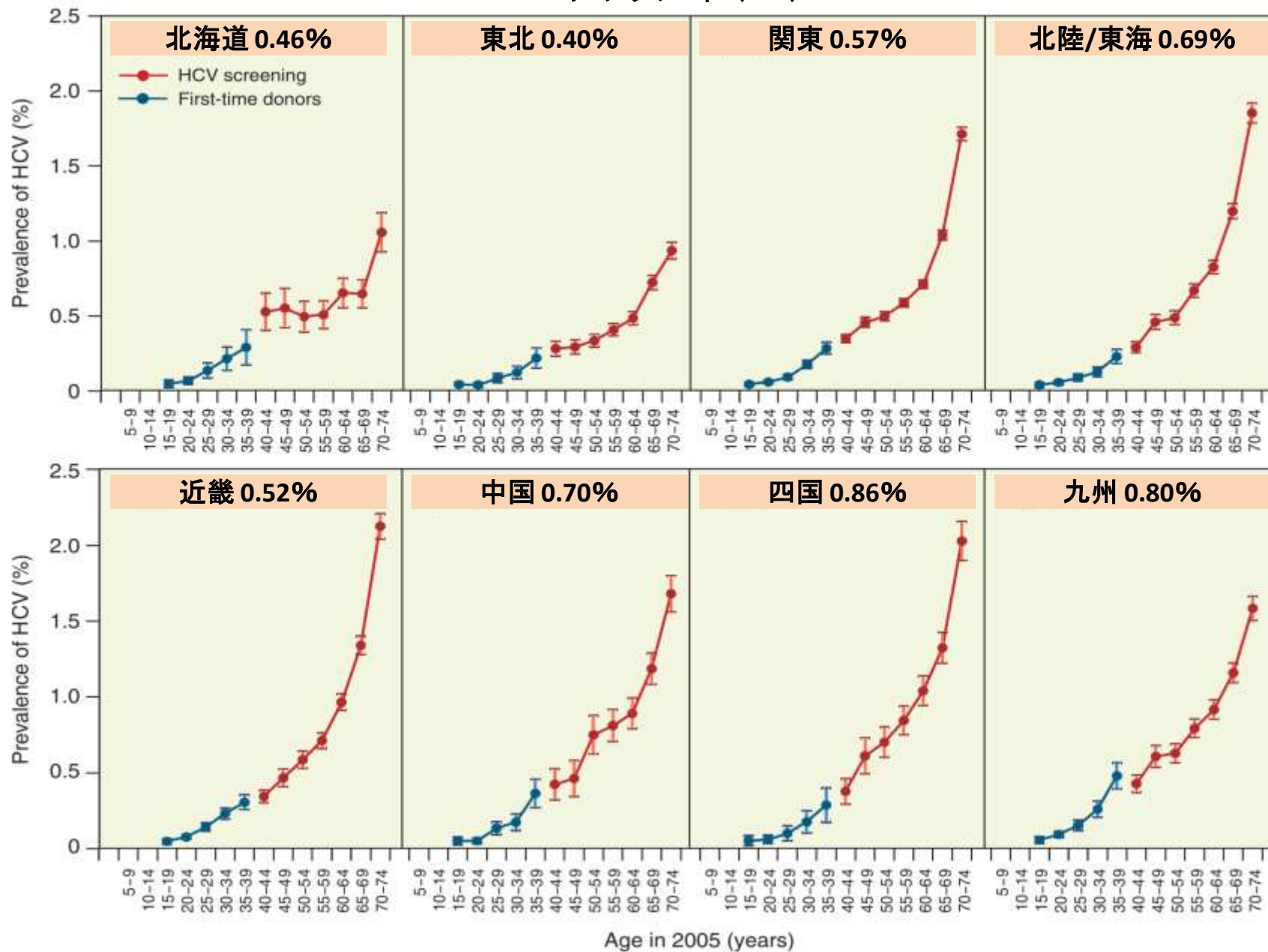
国内最大級の感染症

- C型肝炎ウイルス、B型肝炎ウイルスは肝がんの原因の約9割を占める
- 感染時期がはっきりしない、自覚症状が殆どないため適切な治療時期を逃し、気付かないうちに肝硬変や肝がんへ移行する事が多い

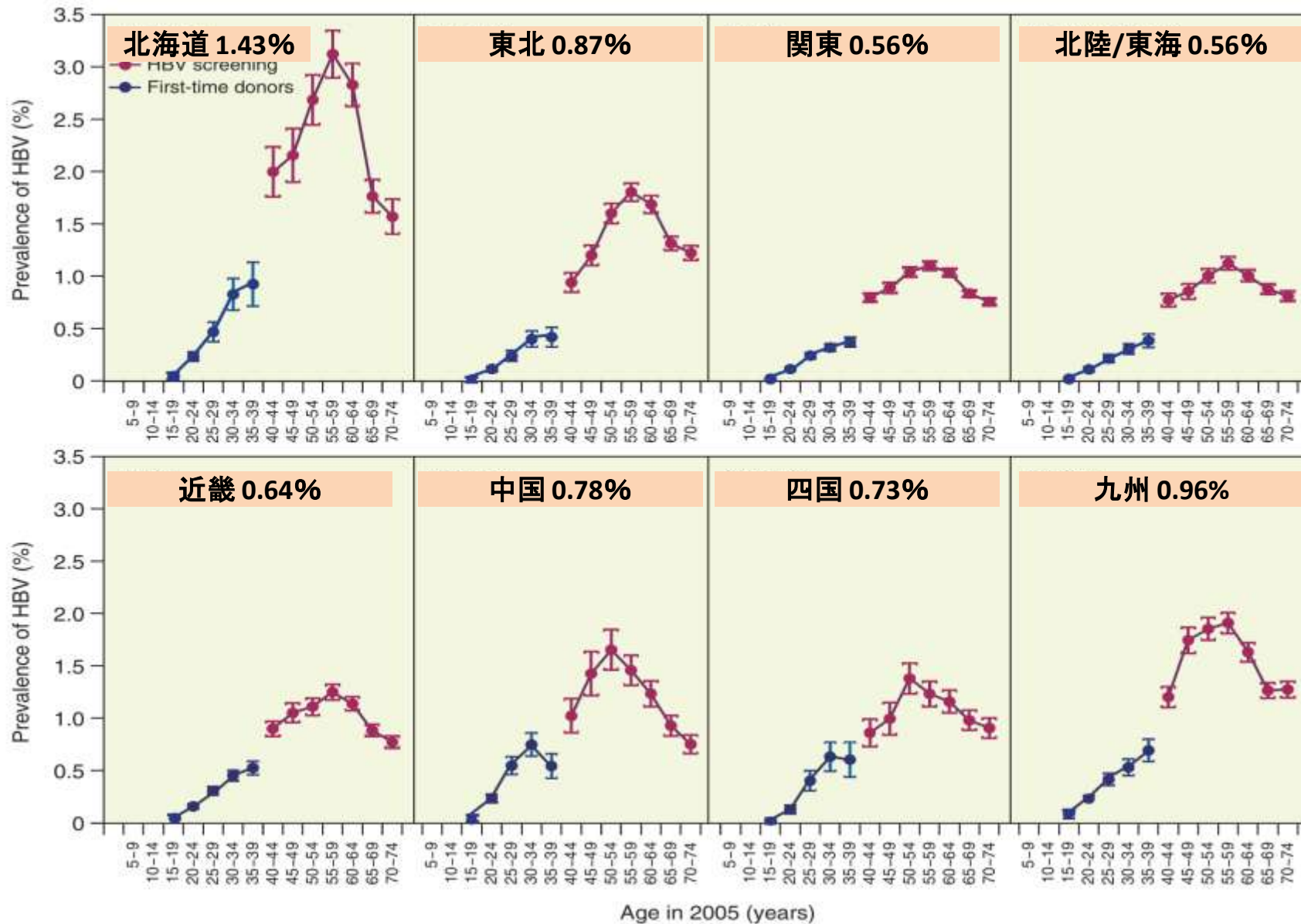
都道府県における検診後肝疾患診療体制に関するガイドライン

- 肝疾患診療連携拠点病院が中心となって、肝疾患診療連携拠点病院、専門医療機関及びかかりつけ医がそれぞれの役割に応じた地域における肝疾患診療ネットワークの構築を進める

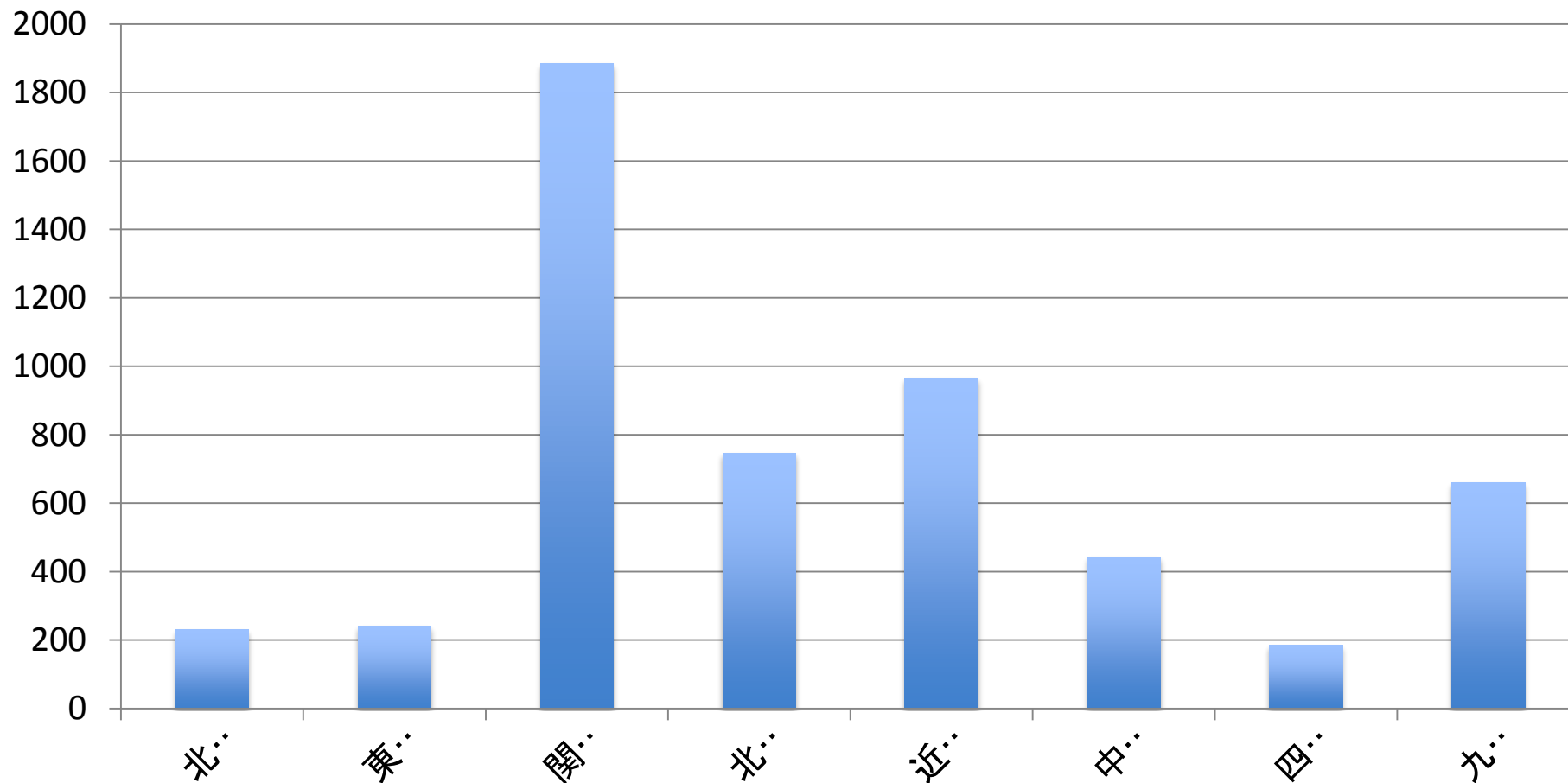
HCVキャリア率(%)



HBVキャリア率(%)

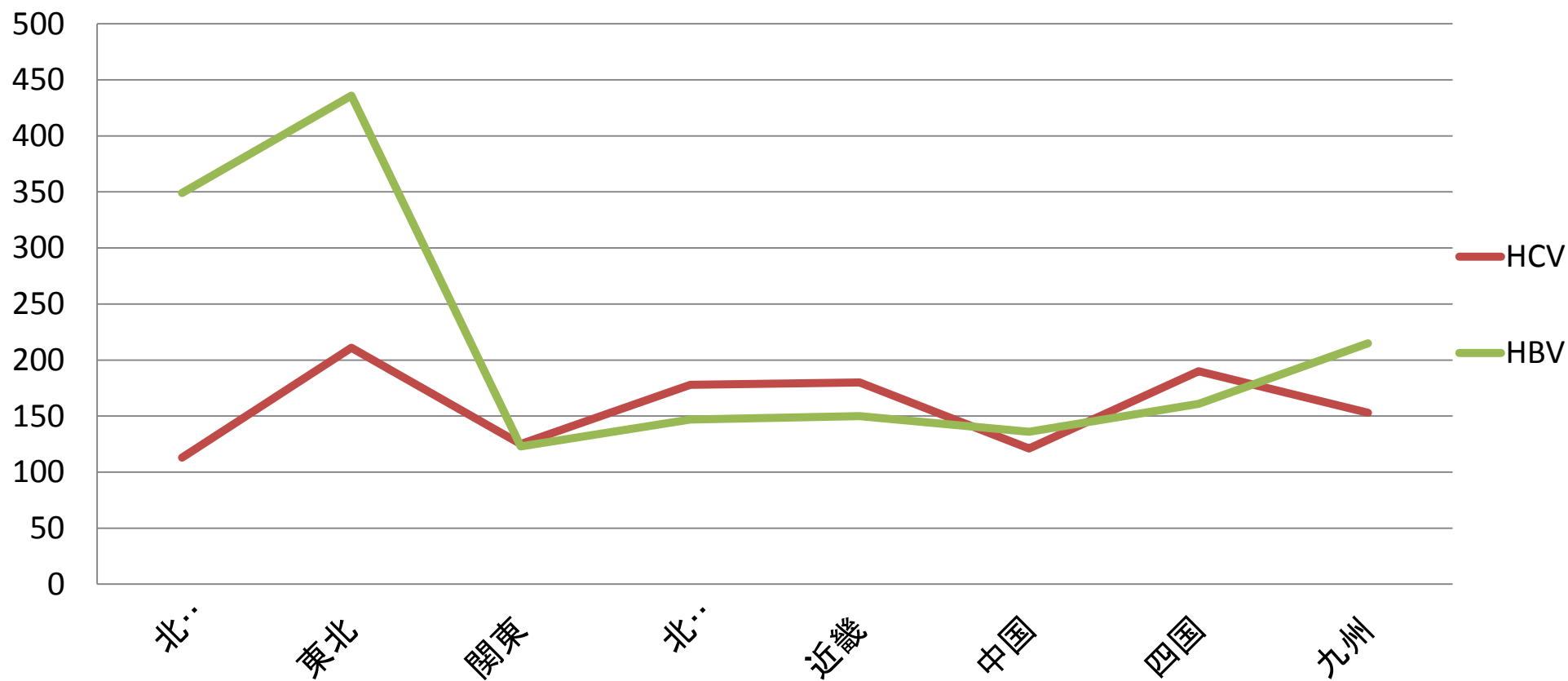


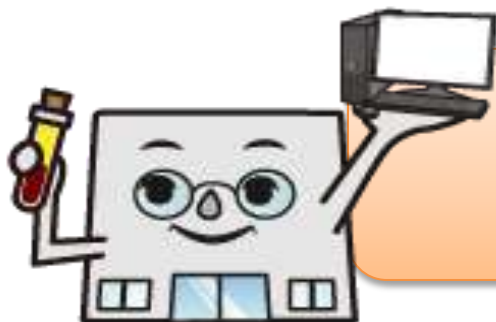
ブロック別 専門医数



平成25年10月現在

ブロック別専門医一人当たりの患者数





かかりつけ医の役割

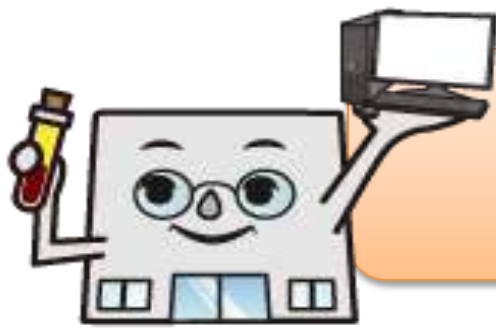
- (1) 内服処方・注射・定期的な検査などの日常的な処置を行う
- (2) 変化がある時は適宜専門医療機関に紹介する
- (3) 少なくとも1年に1度は専門医療機関に病態及び治療方針を確認する

患者にとって一番身近な存在



©2012 さが肝.net

参考: 都道府県における検診後肝疾患診療体制に関するガイドライン



専門医療機関の役割

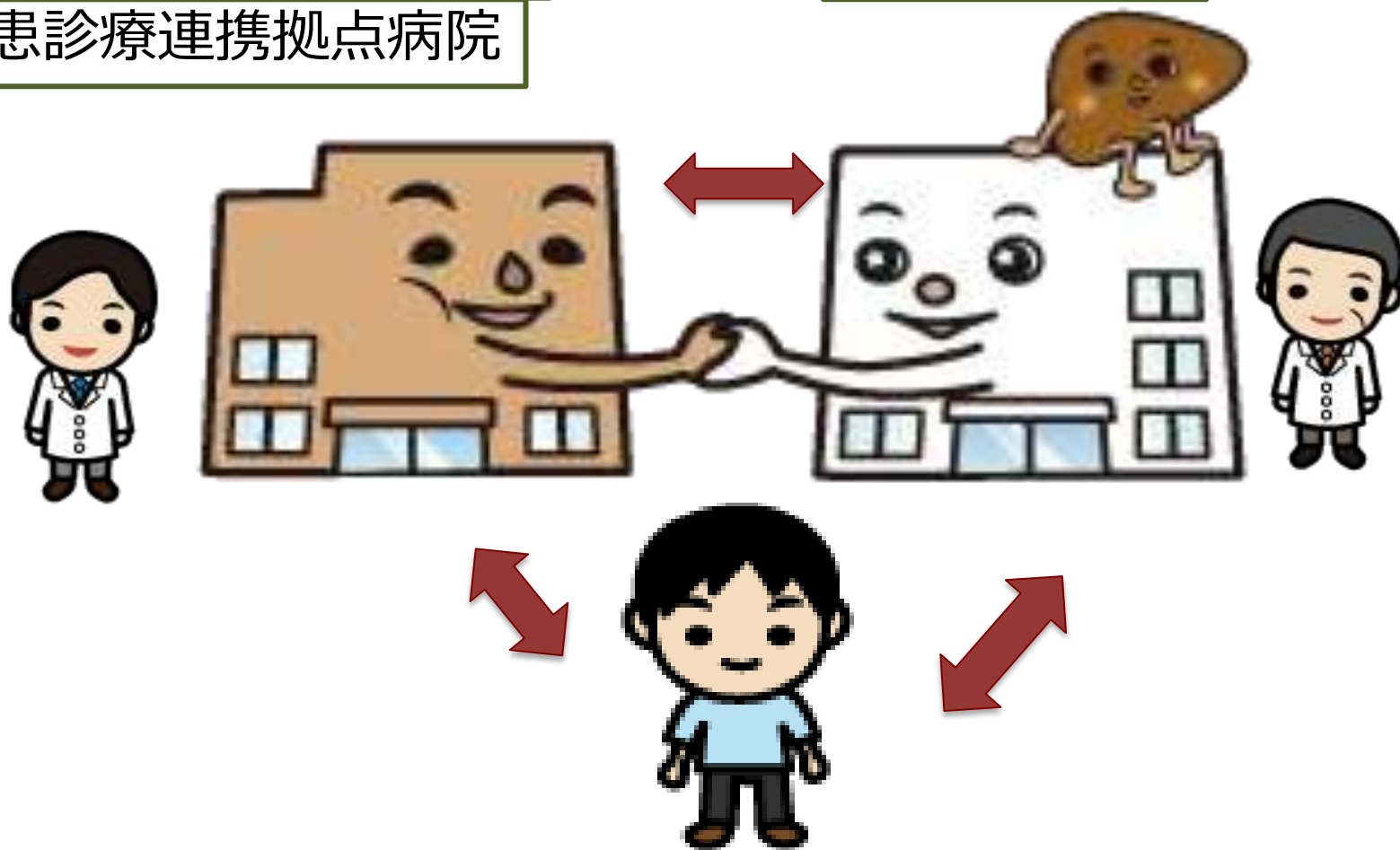
- (1) 専門的な知識を持つ医師による診断と治療方針を決定する
- (2) インターフェロンなどの抗ウイルス療法を適切に実施する
- (3) 肝がんの高危険群の同定と早期診断を適切に実施する



専門医療機関

かかりつけ医

肝疾患診療連携拠点病院



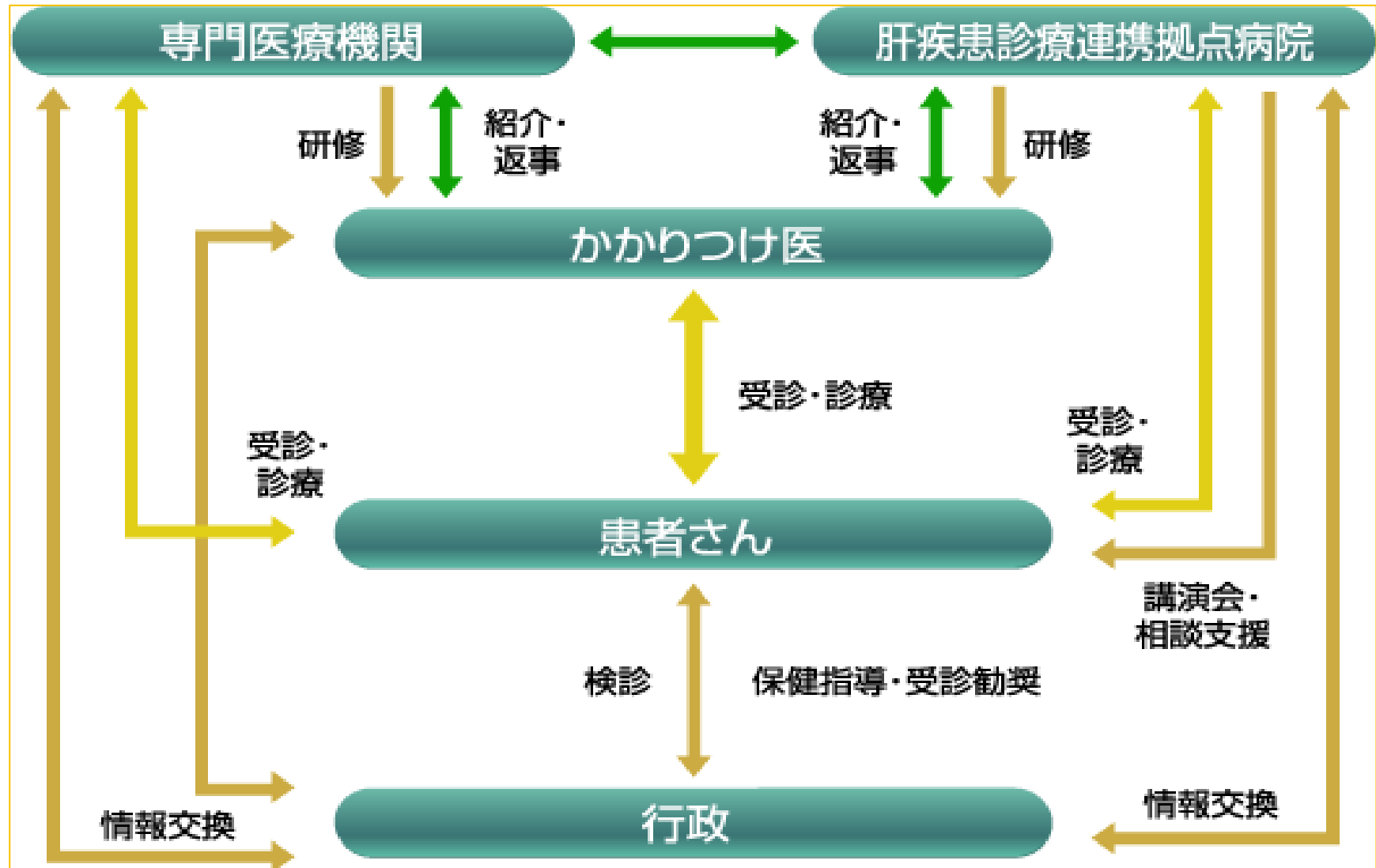
患者

三者一体の医療

都道府県における検診後肝疾患診療体制に関するガイドライン

- 肝疾患診療連携拠点病院が中心となつて、肝疾患診療連携拠点病院、専門医療機関及びかかりつけ医がそれぞれの役割に応じた地域における肝疾患診療ネットワークの構築を進める

肝疾患診療ネットワーク図



専門医療機関の関与の必要性

- ・ 正確な病態の把握や治療方針の決定
- ・ 肝炎治療の目覚ましい進歩に伴う
肝炎医療の均てん化
- ・ 肝疾患患者の定期的な検査



本日の内容

- 1 : 肝疾患における地域連携について
- 2 : 肝疾患診療連携拠点病院の役割
- 3 : 佐賀県での顔の見える地域連携の取り組み
- 4 : 拠点病院で働く看護師の役割



肝疾患診療連携拠点病院の役割

(全国48都道府県に70施設)

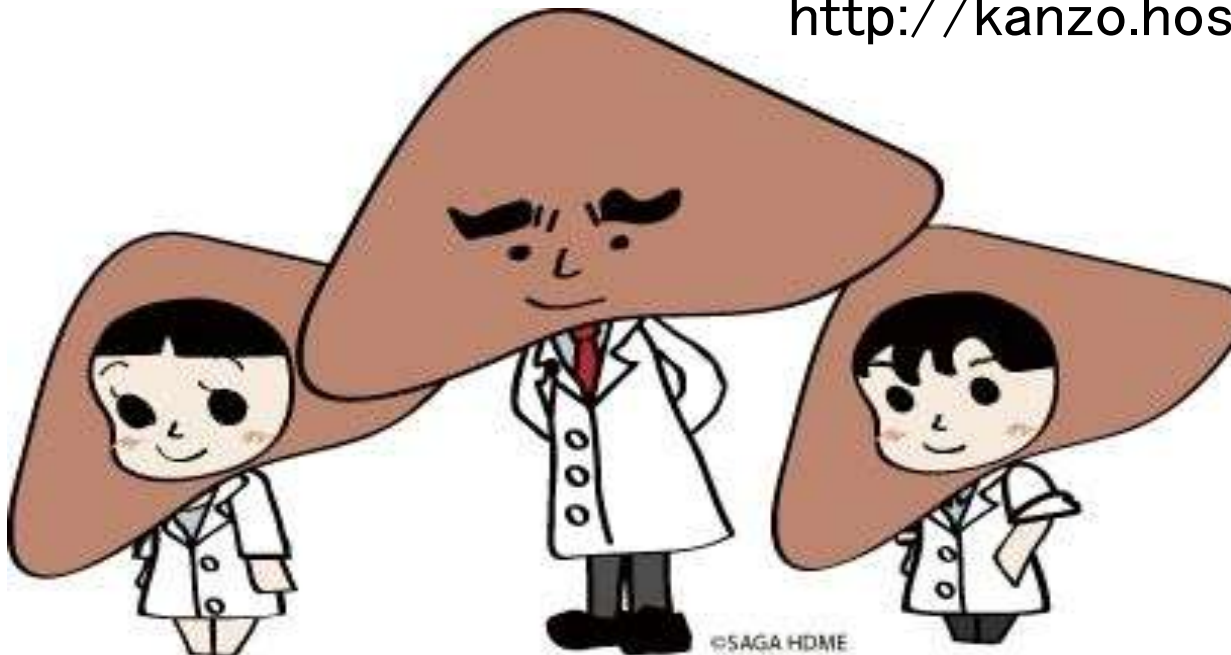
- (1) 肝疾患診療に係る一般的な医療情報の提供
- (2) 都道府県内の肝疾患に関する専門医療機関等に関する
情報収集や紹介
- (3) 医療従事者や地域住民を対象とした研修会や講演会の
開催や肝疾患に関する相談支援に関する業務
- (4) 肝疾患に関する専門医療機関と協議の場の設定

肝疾患相談センターを開設し、患者、キャリア、家族からの相談に応じる

肝臓相談センターにもキャラクター(ゆるキャラ?)がいます
ホームページも開設しています



<http://kanzo.hospital.med.saga-u.ac.jp>



● 肝炎診療の均てん化・医療水準の向上をさらに全国的に推進するために

● 独立行政法人

● 国立国際医療研究センター

肝炎情報センター

肝炎診療の均てん化・医療水準の向上をさらに全国的に推進するためには、特に情報提供機能について都道府県の肝疾患診療連携拠点病院を支援するシステムが必要であり、その基盤整備が必要です。

また、肝炎については国内外で基礎・臨床研究が急速に進行していることから、情報をデータベース化して、定期的に情報をアップデートしていくことが重要となります。さらに、正確な情報を広く発信するシステム作りが必要となります。

肝炎診療ネットワーク

- 都道府県連携拠点病院・専門医療機関
- 北海道
- 東北
- 関東・甲信越
- 東海



県民公開講座を年1回開催しています

第13回
県民公開講座

もっと知ろう肝臓病のこと

～肝炎治療の新時代到来・ 待望の**新薬**登場～

平成25年6月30日(日)
13:30～17:00 (13:00開場)
アバンセ ホール (佐賀市天神3-2-11)

中継により右記会場にて同時開催いたしますので、
お近くの会場へお越しください。専門医による解説を行ないます。

サテライト会場
済生会唐津病院
嬉野医療センター
伊万里有田共立病院

講演

「C型肝炎の画期的新薬登場」
河口 康典 先生 (佐賀大学肝疾患医療支援学講座)

「ちょっと危ないB型肝炎」
有尾 啓介 先生 (嬉野医療センター肝臓内科)

「肝硬変・肝がんでも長生きできる方法」
木田 敏彦 先生 (佐賀大学附属病院内科)

パネルディスカッション

「最新の検査や治療を受けやすくするために」
「Q&A コーナー：あなたの疑問に答えます」

お問合せ先 佐賀大学医学部附属病院 肝臓相談センター
TEL:0952-34-3731 FAX:0952-34-2362

入場無料

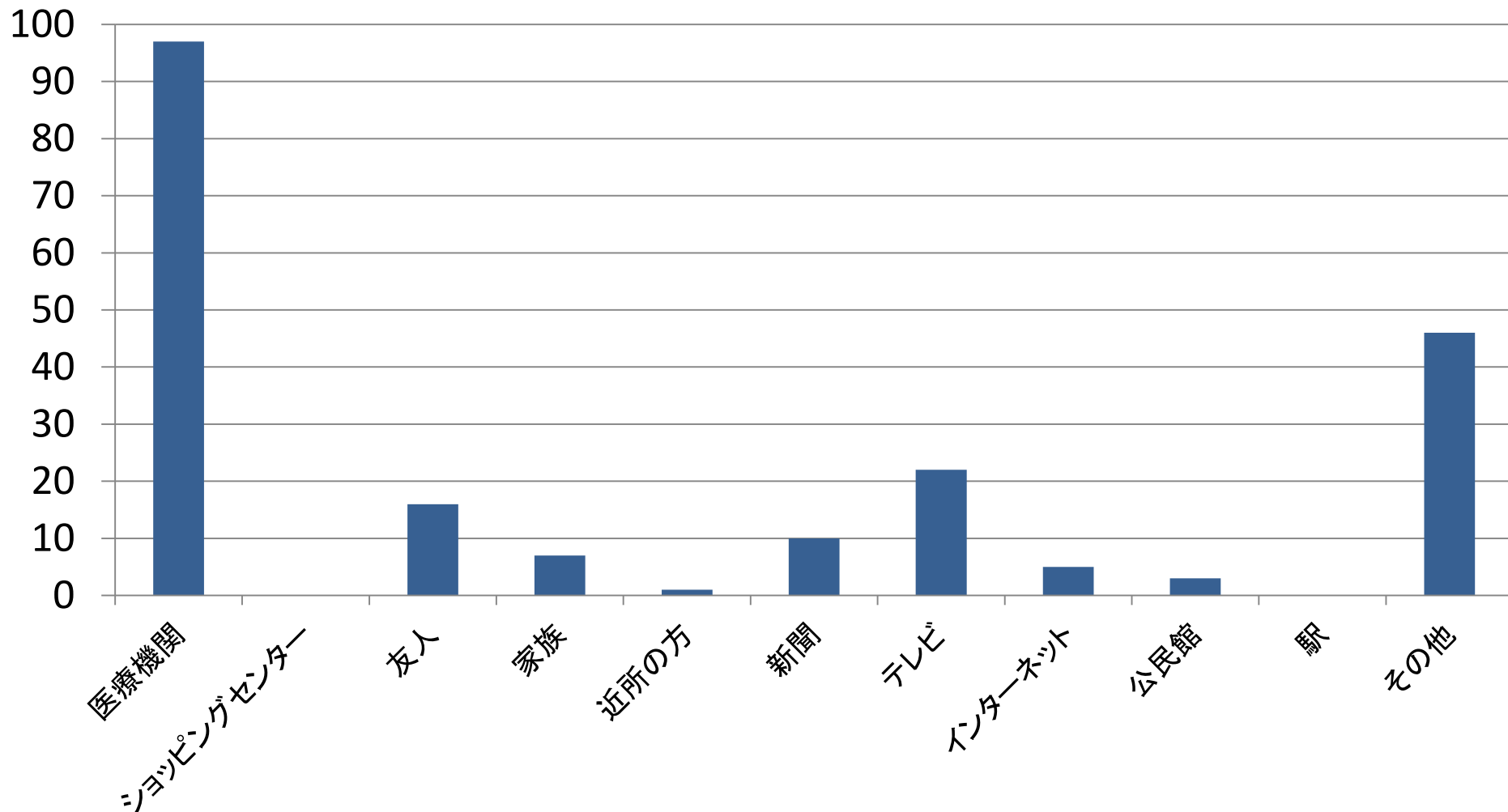
主催：社団法人日本肝臓学会
共催：佐賀県肝臓病対策委員会 佐賀県肝臓病対策協議会 佐賀県肝臓病対策協議会（佐賀大学医学部附属病院）
佐賀大学肝臓病センター 佐賀県肝臓病センター 済生会唐津病院 済生会唐津病院 済生会唐津病院 伊万里有田共立病院
後援：SBS サガテレビ NHK 佐賀放送局 朝日新聞社 佐賀新聞社 西日本新聞社 毎日新聞社 読売新聞佐賀支局



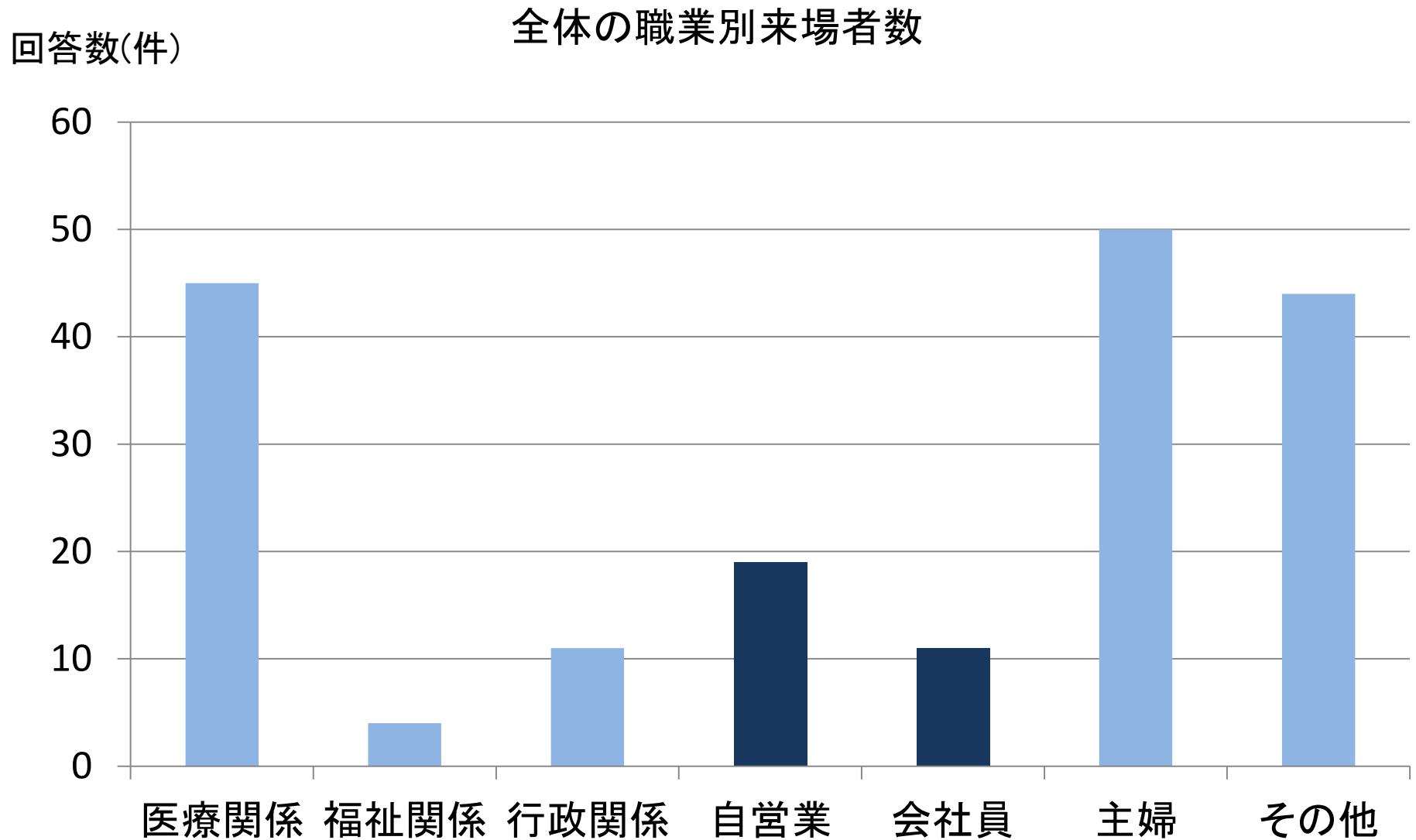
公開講座を知った媒体として、医療機関のみならず テレビや新聞による宣伝も効果がある

公開講座を知った媒体(複数回答)

回答数(件)



職業としては主婦・その他の職業(年金生活者)が多い反面、 勤労者の参加は十分ではない



本日の内容

- 1 : 肝疾患における地域連携について
- 2 : 肝疾患診療連携拠点病院の役割
- 3 : 佐賀県での顔の見える地域連携の取り組み
- 4 : 拠点病院で働く看護師の役割

肝疾患センター

データ集積・
解析部門

肝疾患
コーディネーター
統括部門

肝疾患
診療・教育
支援部門

肝疾患
コーディネーター
育成支援事業

肝疾患
地域支援事業



肝炎
連携事業

地域肝炎コーディネーター 養成研修会

市町村・地域医療機関・企業の保健師、看護師及び医療ソーシャルワーカー等の保健指導を行う立場にあるもの



地域肝炎コーディネーター養成研修会のご案内

佐賀県は11年連続、肝がん死亡率ワースト1位が続いています。最新の肝疾患の知識を学び、肝がん撲滅のため地域に貢献してみませんか？

日時：第1次日程

【1日目】平成23年10月29日（土）【2日目】10月30日（日）

第2次日程

【1日目】平成24年1月28日（土）【2日目】1月29日（日）

講義時間

【1日目】9:00～16:00

【2日目】9:00～15:00

※第1次、第2次ともに同じカリキュラムです。2日目に試験を行い、合格者には認定証が授与されます。

会場：佐賀大学医学部 看護学科棟1階 第4講義室
（佐賀市鍋島5丁目1番1号）

対象者：市町村・地域医療機関・企業の保健師、看護師及び医療
ソーシャルワーカー等の保健指導を行う立場にあるもの

募集人数：50人程度（定員なり次第締め切り）

締め切り：平成23年10月6日（木曜日）

受講料：無料（交通費の支給はありません）

【受講のお申し込み先】

佐賀県 健康増進課 がん対策推進担当

電話（0952）25-7074

FAX（0952）25-7268

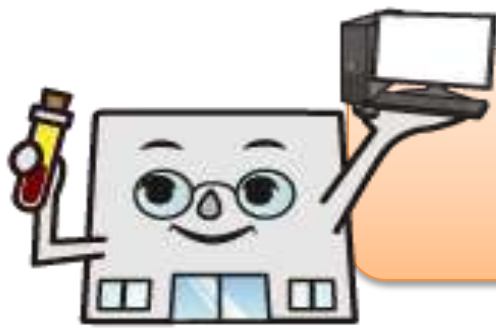


たくさんのご参加を
お待ちしております！



肝炎コーディネーターの役割

肝疾患患者が均てん化された適切な肝炎医療を受けることができるよう、肝疾患の専門的な知識を身につけ、患者とその家族に正確な情報提供を行い心身共にサポートを行う。また、患者と医療機関との橋渡し役となり地域での連携を深め肝炎対策を推進していく。



専門医療機関の役割

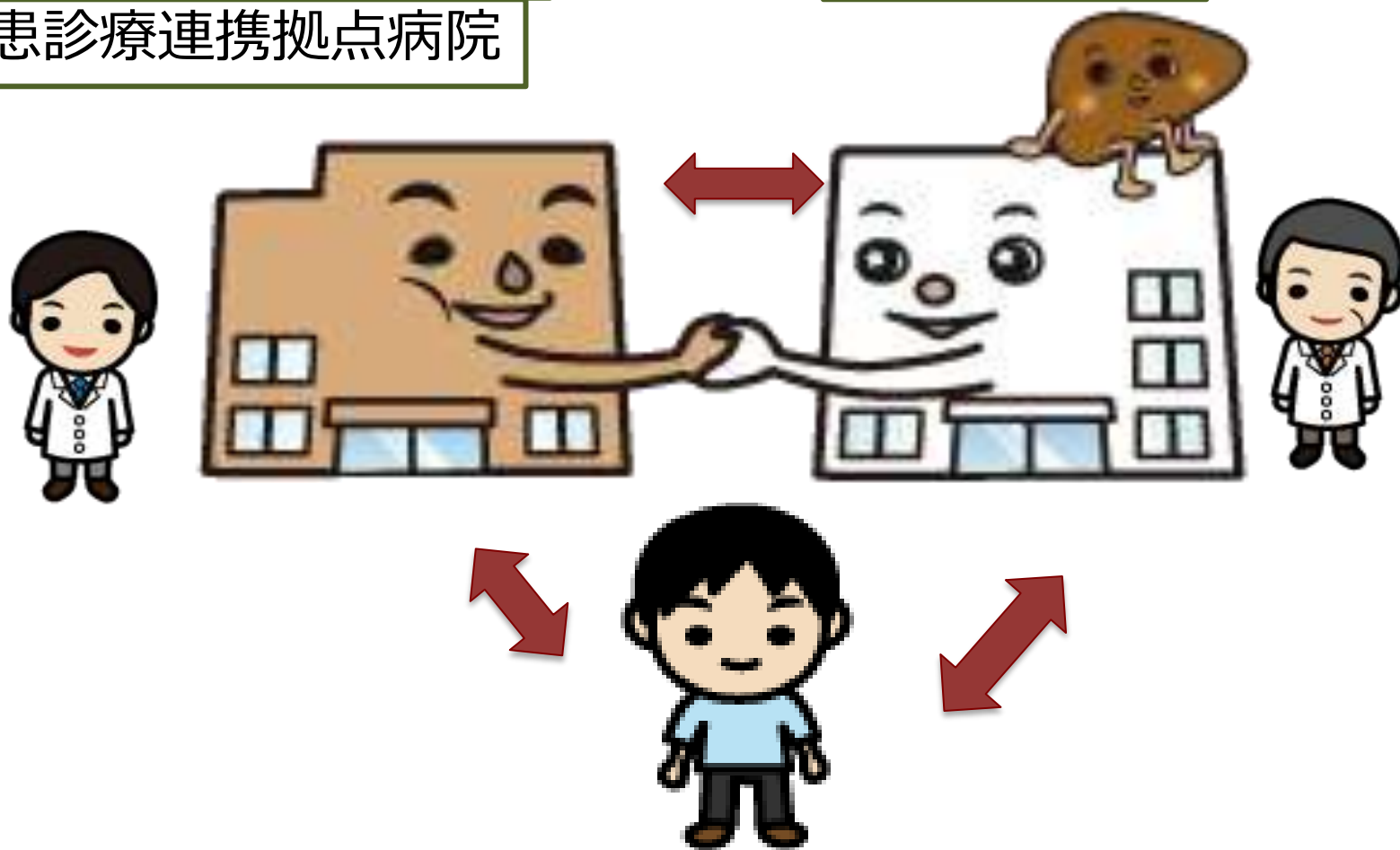
- (1) 専門的な知識を持つ医師による診断と治療方針を決定する
- (2) インターフェロンなどの抗ウイルス療法を適切に実施する
- (3) 肝がんの高危険群の同定と早期診断を適切に実施する



専門医療機関

かかりつけ医

肝疾患診療連携拠点病院



患者

三者一体の医療

佐賀県地域肝炎コーディネーター 養成者数

平成23年度 135名

平成24年度

e-learning 25名

座学

131名

} 156名

平成25年度 100名

合計391名



キーワードは……

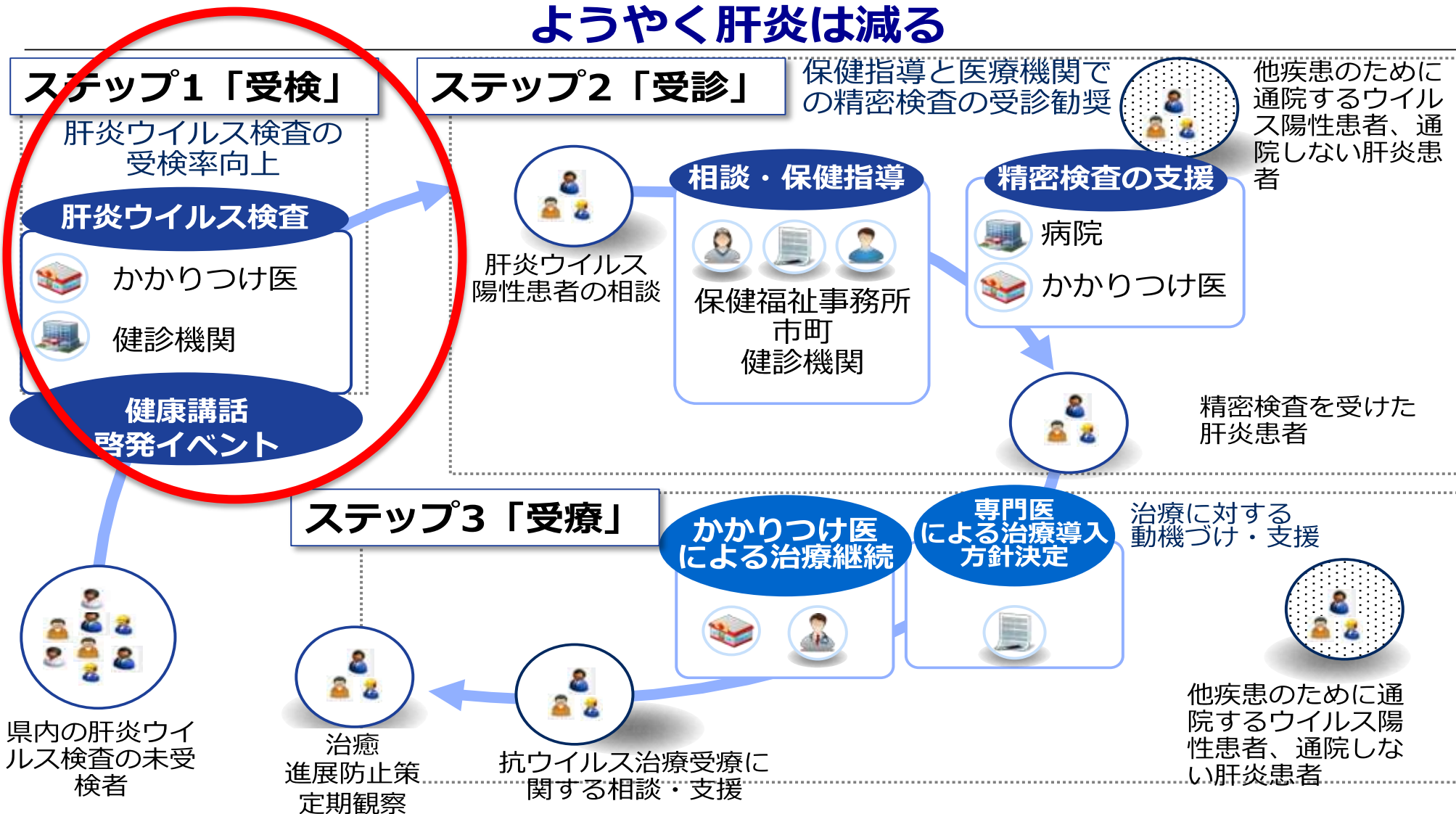
受検・受診・受療



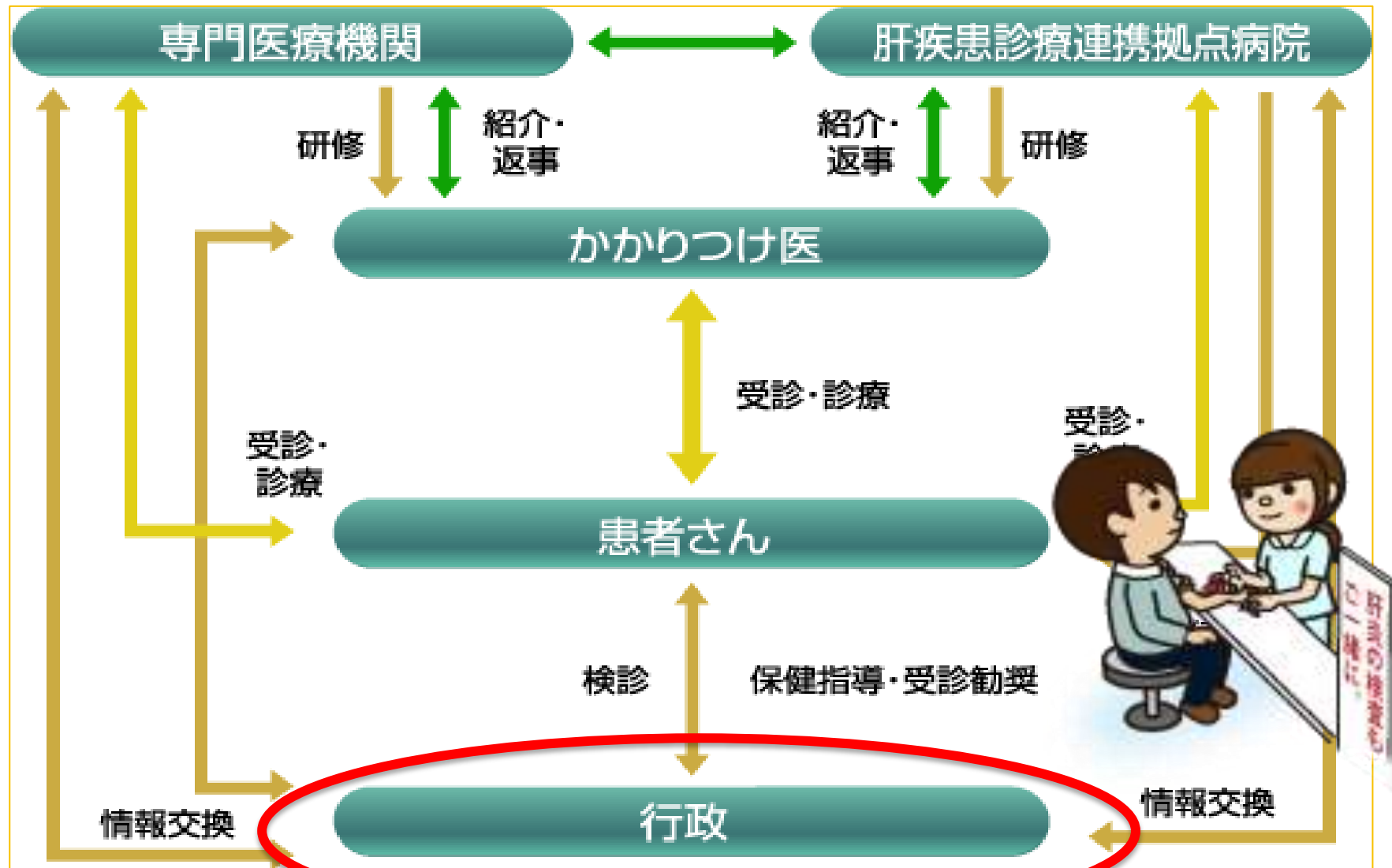
Step 1: 「受検」



課題の可視化：肝疾患連携エコシステム： 「受検」「受診」「受療」の3ステップが進んで ようやく肝炎は減る



肝疾患診療ネットワーク図



啓発方法の追加（ひとが集まるところへ）



NHK放送局まつり（H24年10月）



さが農業まつり（H25年1月）
8万5000人



TOMMY HILFIGER



2013 in 生賀



WORLD SWIM COLLECTION

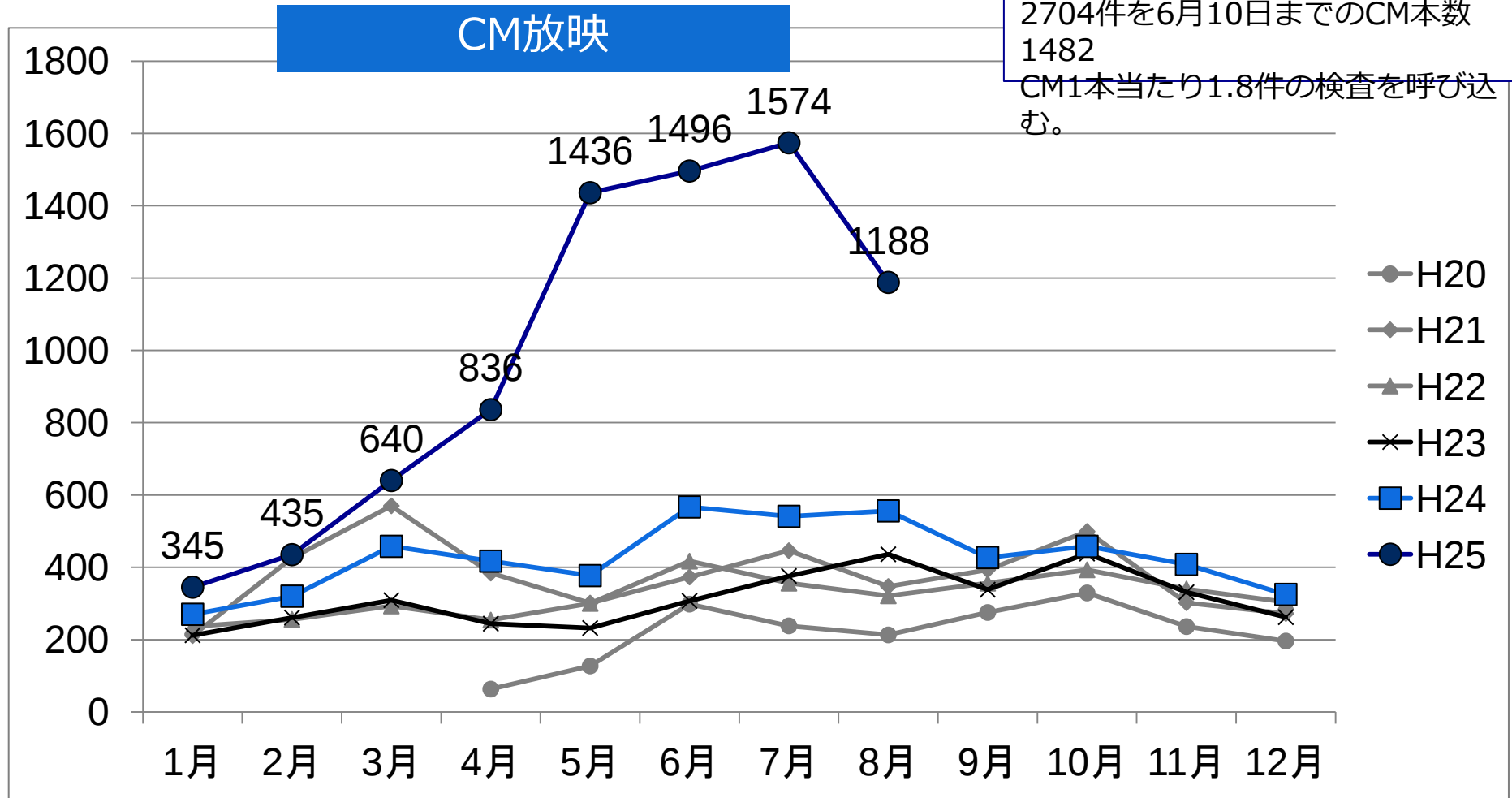






受検率は向上しており、続く受診・受療の精度を上げる仕組み作りを構築しなければならない

昨年2月～6月の検査数は2139件、
今年2月～6月の検査数は4843件、
その差は2704件。
2704件を6月10日までのCM本数
1482
CM1本当たり1.8件の検査を呼び込む。

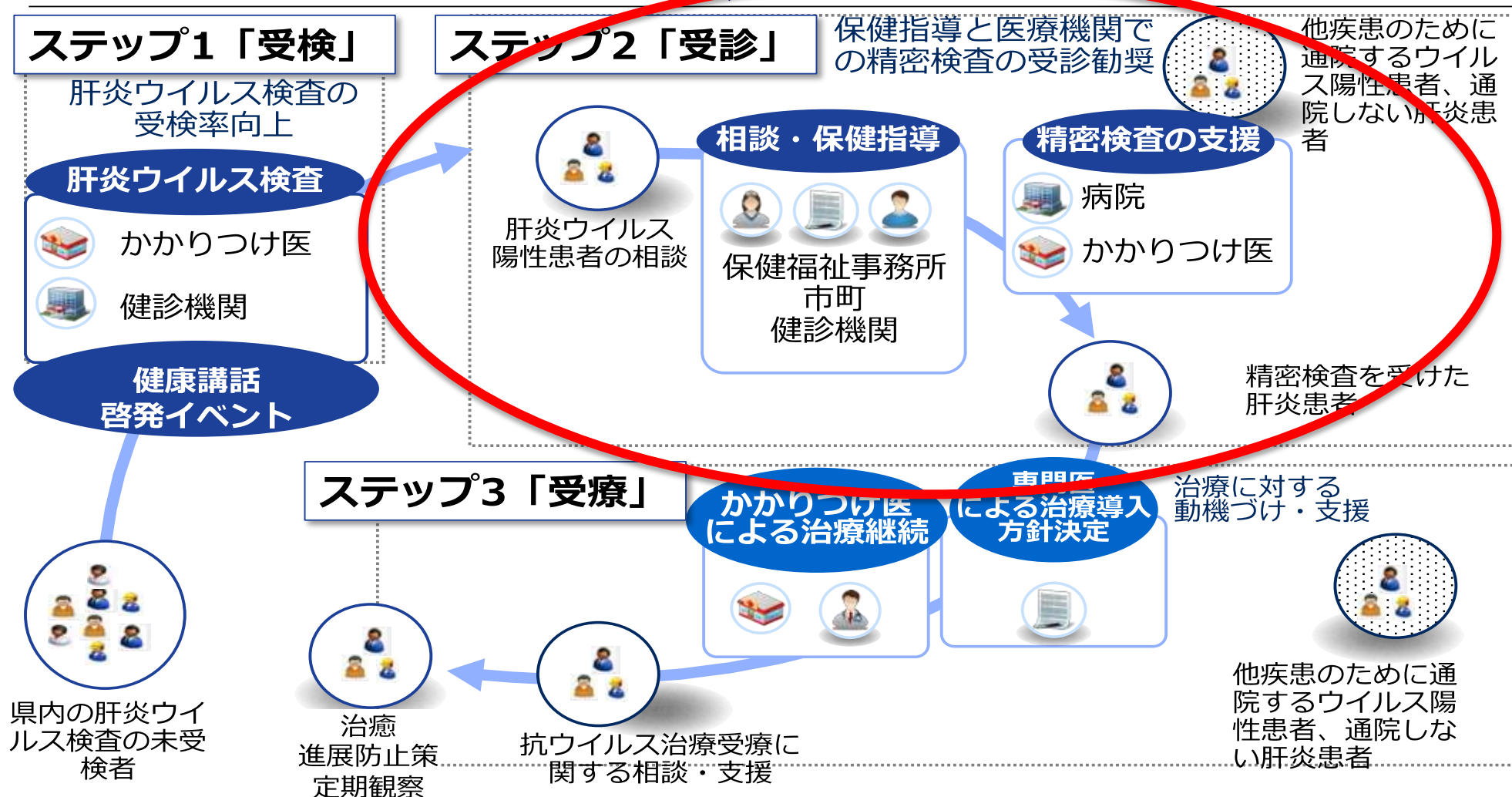


月平均対前年比 H23:98% H24:137% H25:226%

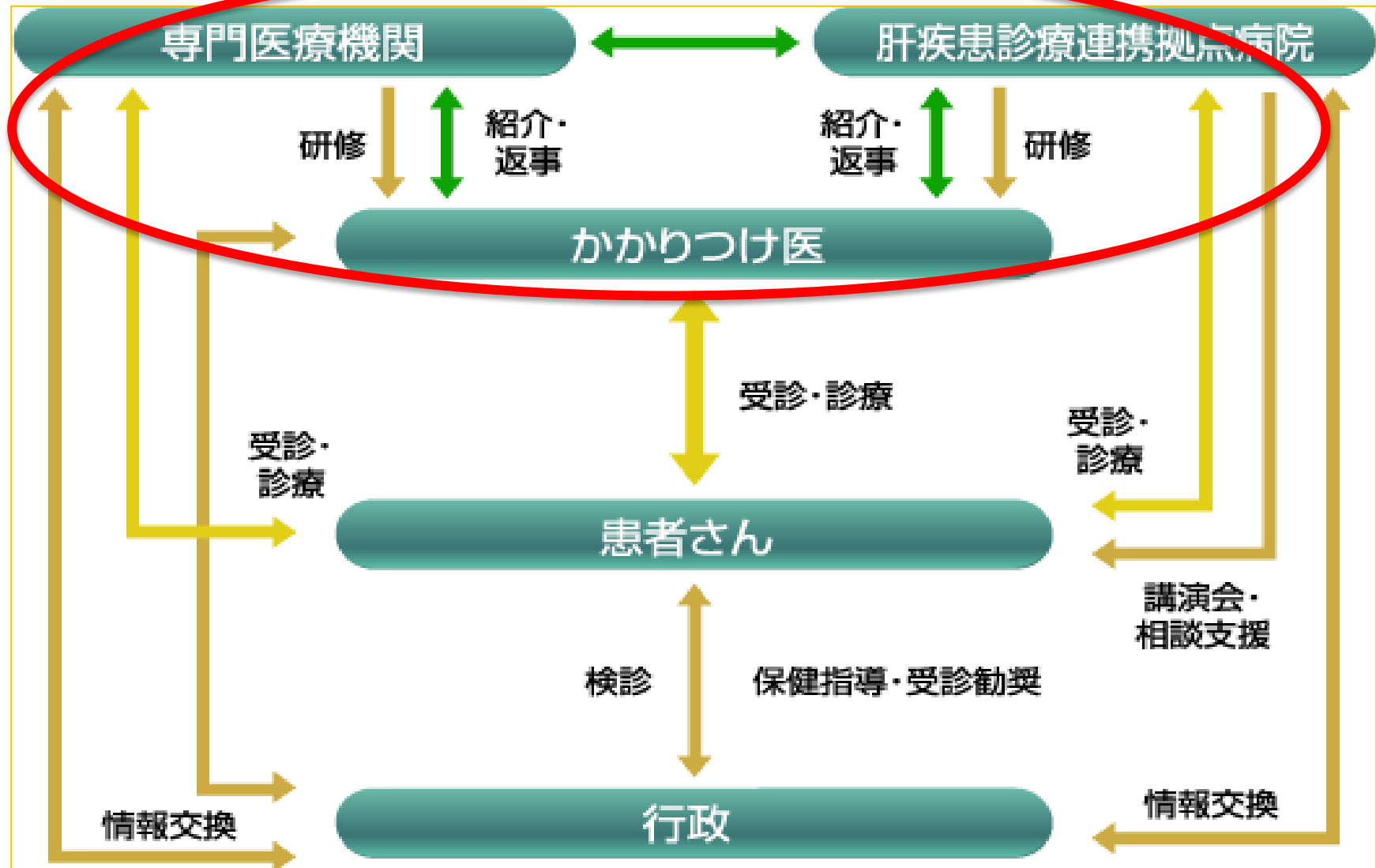
Step 2: 「受診」



課題の可視化：肝疾患連携エコシステム： 「受検」「受診」「受療」の3ステップが進んで ようやく肝炎は減る



肝疾患診療ネットワーク図



「今」

です。

精密検査を受けるのは

後悔先に立たず！

肝炎精密検査費用の助成制度開始

肝炎ウイルス検査で陽性反応が出て、治療が必要な場合や経過観察が必要な場合、中には全く症状がなかったりなど肝臓の状態は様々です。

自覚症状がないからと放っておくと肝硬変、そして肝がんへと進行する可能性もあります。

佐賀県ではB型またはC型肝炎ウイルス検査の結果が陽性と判定された方が初めて受ける精密検査費用について上限5,000円の助成を期間限定で実施しています。

必ず精密検査を受け、ご自身の状態をしっかりと確認し、安心と適正な治療に結び付けましょう。

助成対象となる精密検査受診期間：平成24年4月1日～平成25年3月31日

＜肝炎精密検査費用助成についての詳細は佐賀県健康増進課またはお近くの保健福祉事務所へお問合せください＞

佐賀県 健康増進課 TEL:0952-25-7074 E-mail:kenkouzoushin@pref.saga.lg.jp

佐賀県 肝炎対策 検索

佐賀中部保健福祉事務所 0952-30-1905 鳥栖保健福祉事務所 0942-83-3579 唐津保健福祉事務所 0953-73-4185 伊万里保健福祉事務所 0955-23-2101 杵築保健福祉事務所 0954-22-2104



精密検査に 5000 円助成される

ようになりました！！

＜目的＞

ウイルス検査で要精密検査の判定を受けても、多忙を理由に精密検査を受けない人が多くいます。一人でも多く精密検査を受けてもらい、早期治療に繋げていくことが目的です。

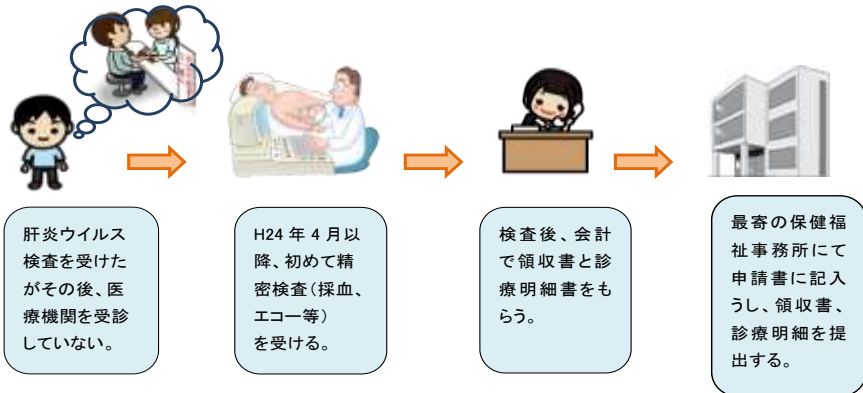
＜内容＞

指定された医療機関で対象となる検査項目を含む精密検査を受診した方で申請された方に上限5000円を償還払いで助成します。

＜対象＞ ※以下、すべてにあてはまる方

- ・佐賀県内に住民登録をしている20歳以上の方
- ・B型またはC型肝炎ウイルス検査の結果が陽性の方
- ・これまで肝炎ウイルス精密検査を受診したことがない方
- ・精密検査により治療が必要と診断された場合には治療を受ける意志のある方
- ・精密検査を受診したことが市町へ情報提供されることや、匿名化の上、佐賀県肝疾患データベース登録されることについて同意を得られる方

＜申請までの流れ＞



※県庁内の県健康増進課でも輸送に限り申請可能



(問い合わせ先)
佐賀大学医学部附属病院
肝臓相談センター
TEL 0952(34)3731

大学病院 非専門診療科のスクリーニング検査で判明した「HCV抗体陽性」患者のマネージメント

- ・ 調査期間：2011年1月～12月
- ・ 非専門診療科で測定された症例：6612例のうちHCV抗体陽性者は491例（7.9%）であった。

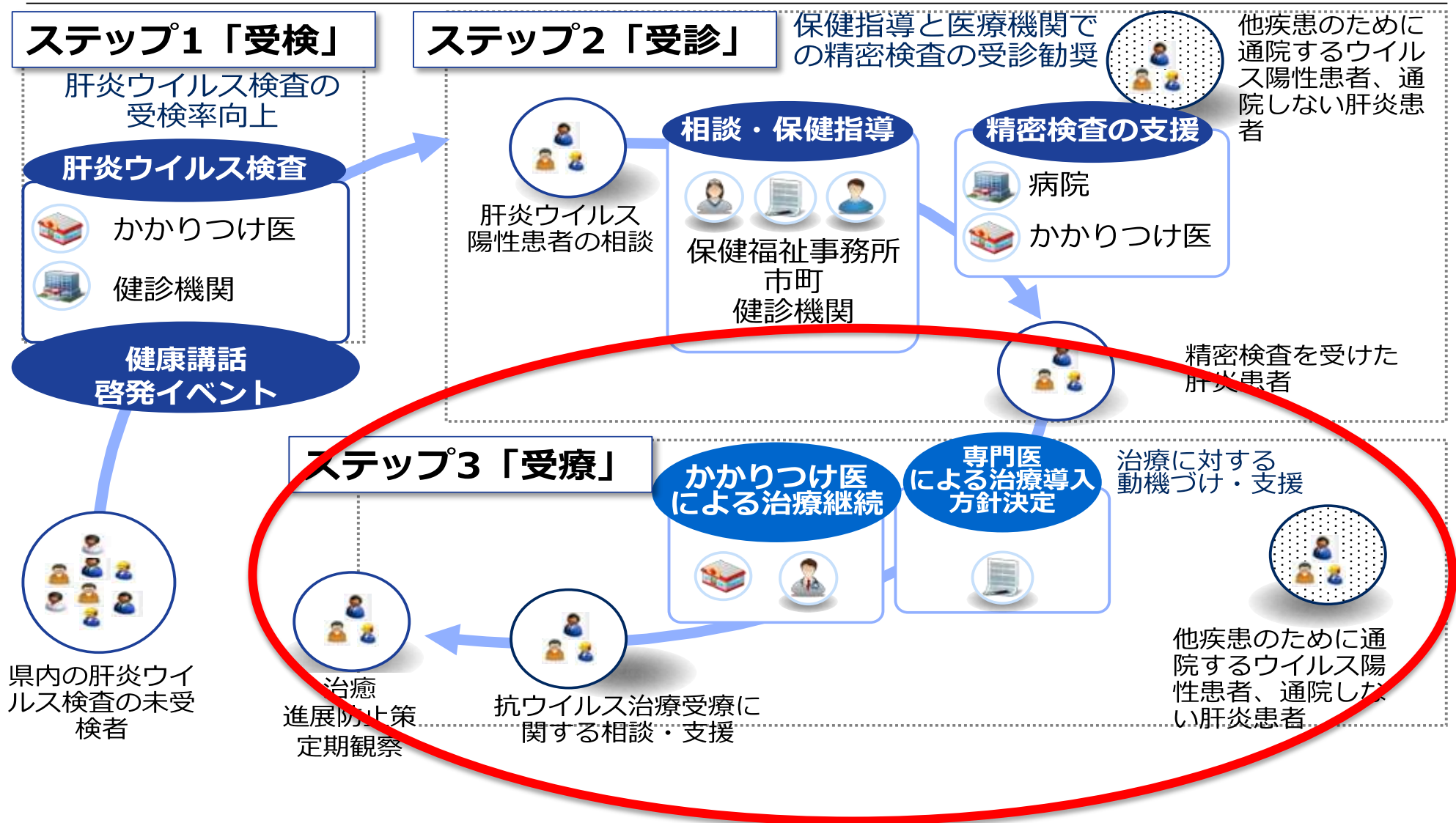


陽性者の約4割が、肝障害を伴うHCVキャリアであるにも関わらず、適切な介入の機会を逃した可能性があった。

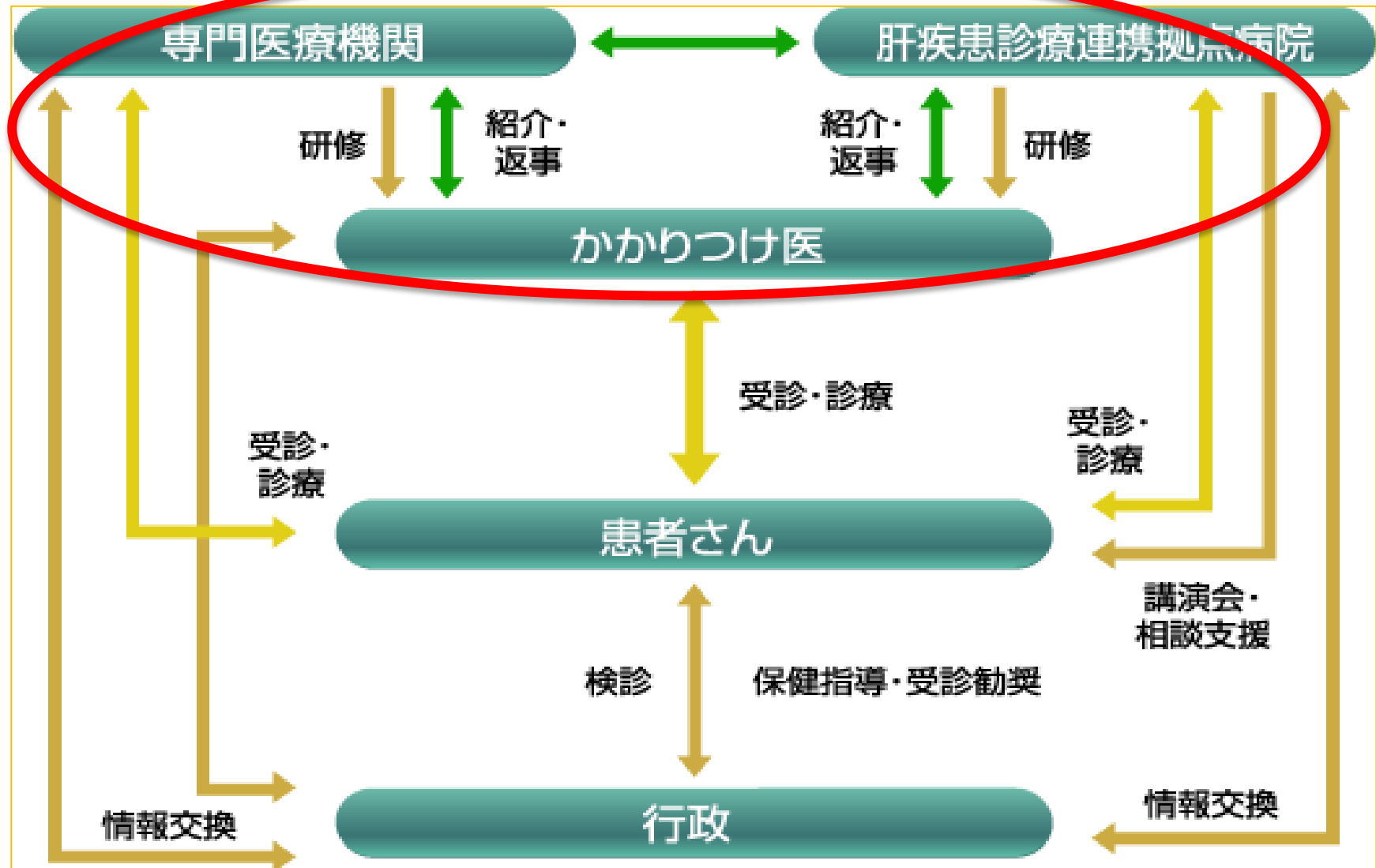
Step 3: 「受療」



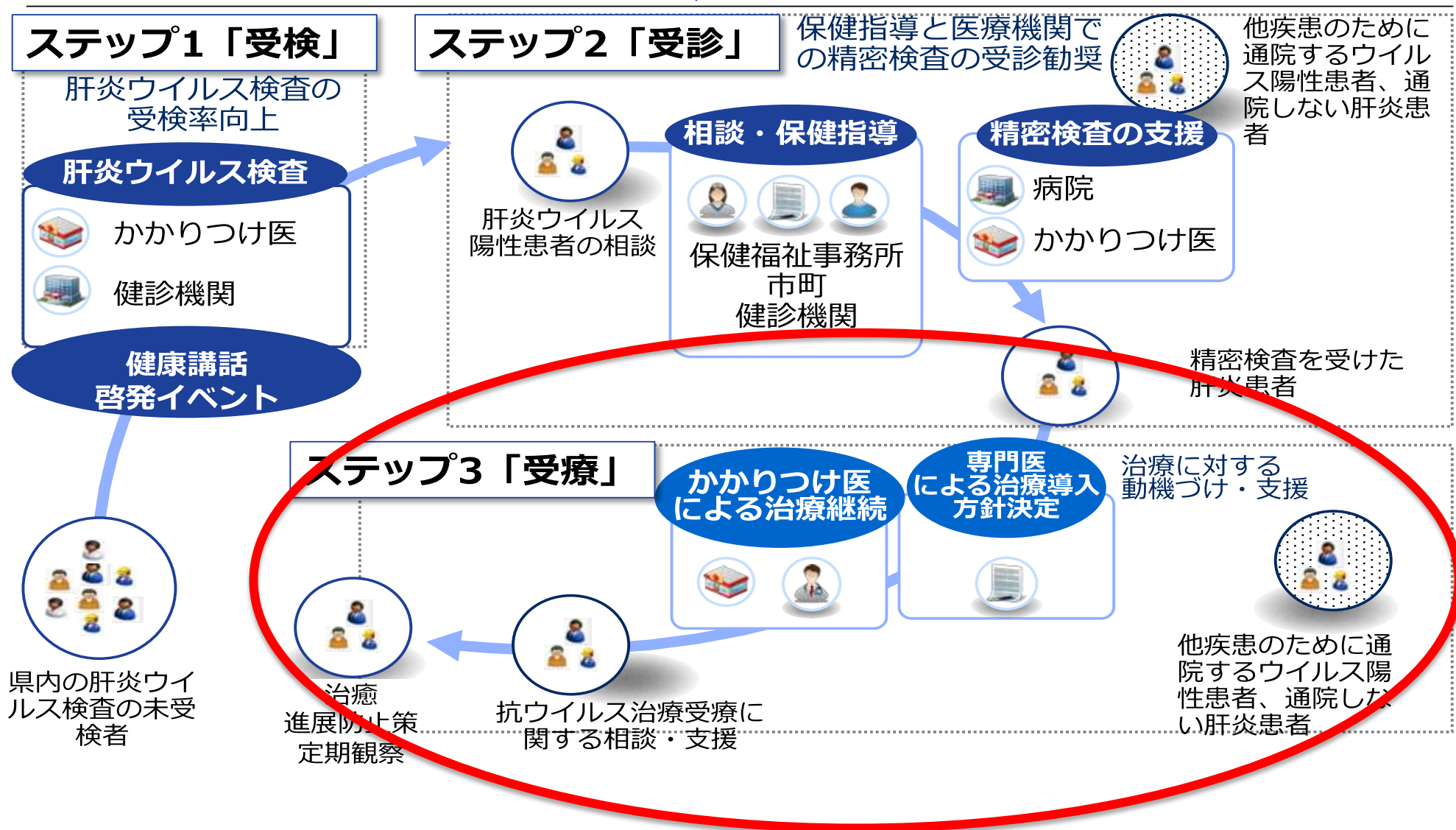
課題の可視化：肝疾患連携エコシステム： 「受検」「受診」「受療」の3ステップが進んで ようやく肝炎は減る



肝疾患診療ネットワーク図



課題の可視化：肝疾患連携エコシステム： 「受検」「受診」「受療」の3ステップが進んで ようやく肝炎は減る





特任肝炎コーディネーター

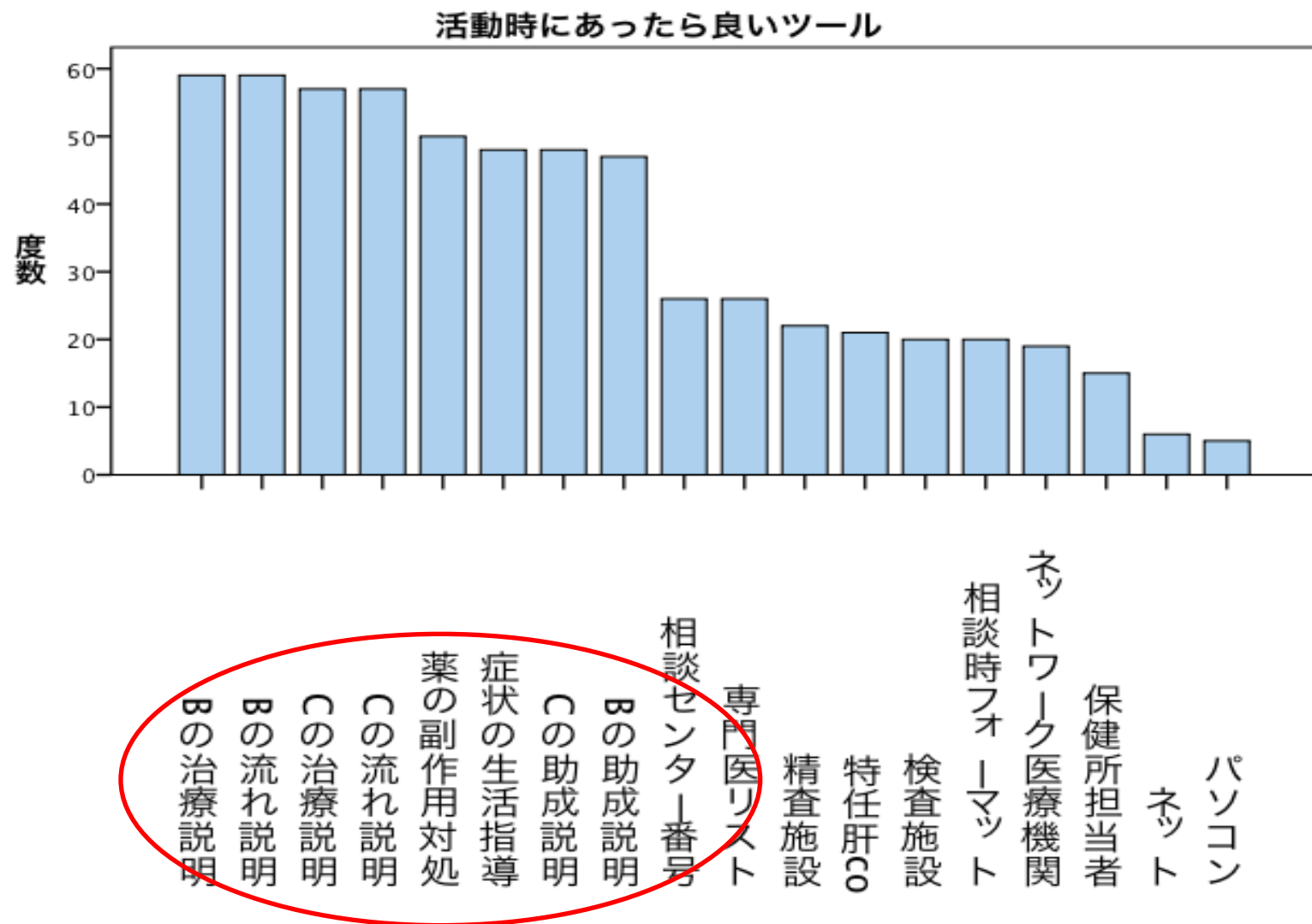
（専門医療機関に所属）



地域肝炎コーディネーター

（市町、保健福祉事務所の保健師、地域の医療機関の看護師やその他の医療従事者）

さらに連携を加速させるために



肝炎やさしく解説 Q & A集の配布



佐賀大学 肝疾患センターHPよりダウンロード可能
<http://sagankan.med.saga-u.ac.jp/iryo/kankotool.html>

**Q&A集の使い方、ベストプラクティスを理解させ、
また一連の肝疾患診療の流れを理解するツールとして、
ドラマを作成、配布した**



You Tubeで公開中 「肝炎コーディネーター」

(日本語版) http://www.youtube.com/watch?v=IexQx_7I-kY

(英語版) <http://www.youtube.com/watch?v=KmmYeDVkTPs>

フォローアップ研修会の開催

2012年10月29日

唐津・伊万里・杵藤地区



2012年10月31日

佐賀中部・鳥栖地区



さが肝疾患地域連携研修会の開催

第1回	3月29日	好生館			
第2回	4月19日	伊万里有田	12名		
第3回	5月24日	NHO佐賀	36名		
第4回	6月26日	済生会唐津	16名		
第5回	7月24日	佐賀社保	18名		
第6回	8月29日	鳥栖	10名 + 久留米大肝疾患連携室2名		
第7回	9月28日	唐津日赤	13名		
第8回	10月31日	NHO嬉野	21名		
第9回	11月14日	好生館	31名		
第10回	12月11日	伊万里有田	54名		
第11回	1月17日	NHO佐賀	37名		
第12回	2月1日	鳥栖	17名		
第13回	3月14日	済生会唐津	40名		
第14回	4月15日	佐賀社保	103名		
第15回	5月24日	NHO嬉野	75名		
第16回	6月3日	唐津日赤	55名 + 広島県庁1名		
第17回	7月24日	好生館	74名		
第18回	8月9日	鳥栖（サンメッセ）	54名 + 久留米大3名		
第19回	9月13日	伊万里有田			

連携促進・スキルアップをめざし、専門医療機関肝臓専門医による最新の講義とグループワークを実施。2巡目以降は、医師会生涯教育へ登録し、地域の医療機関へも案内し顔が見える連携の促進をはかっている

活動内容の記載

目標		Plan		氏名	
日付	2月14日	氏名(イニシャルOK)	I・N	性別	男・女
疾患	☐ B型慢性肝炎 ☒ C型慢性肝炎 ☐ 肝硬変(B/ C/ その他) ☐ 肝がん ☐ その他				
対応	☒ 相談・情報提供 ☒ 医療機関 or 肝炎コーディネーター紹介 施設名 <u>佐賀市立病院</u> 担当者 <u>副島 くす子</u> ☐ 肝臓相談センター紹介				
memo					
日付	2月28日	氏名(イニシャルOK)	M・H	性別	男・女
疾患	☒ B型慢性肝炎 ☐ C型慢性肝炎 ☐ 肝硬変(B/ C/ その他) ☐ 肝がん ☐ その他				
対応	☒ 相談・情報提供 ☐ 医療機関 or 肝炎コーディネーター紹介 施設名 担当者名 ☐ 肝臓相談センター紹介				
memo					
日付	月 日	氏名(イニシャルOK)		性別	男・女
疾患	☐ B型慢性肝炎 ☐ C型慢性肝炎 ☐ 肝硬変(B/ C/ その他) ☐ 肝がん ☐ その他				
対応	☐ 相談・情報提供 ☐ 医療機関 or 肝炎コーディネーター紹介 施設名 担当者名 ☐ 肝臓相談センター紹介				
memo					
日付	月 日	氏名(イニシャルOK)		性別	男・女
疾患	☐ B型慢性肝炎 ☐ C型慢性肝炎 ☐ 肝硬変(B/ C/ その他) ☐ 肝がん ☐ その他				
対応	☐ 相談・情報提供 ☐ 医療機関 or 肝炎コーディネーター紹介 施設名 担当者名 ☐ 肝臓相談センター紹介				
memo					
日付	月 日	氏名(イニシャルOK)		性別	男・女
疾患	☐ B型慢性肝炎 ☐ C型慢性肝炎 ☐ 肝硬変(B/ C/ その他) ☐ 肝がん ☐ その他				
対応	☐ 相談・情報提供				

Do

肝炎対策を地域で推進していくために

- ・ 専門医療機関の持ち回りでのさが肝疾患地域連携研修会の開催
- ・ 肝炎コーディネーター連絡簿の配布
- ・ 平成25年5月から9月までの活動ログの回収
- ・ アンケート
- ・ 地域での肝疾患に関するイベントへ紹介

肝疾患に地域連携が必要な理由

- 肝炎ウイルスキャリアは推定200～300万人（佐賀県では約1万人）
- 肝炎治療は進歩している
- 治療が必要な人が潜在している
- キャリアの多くは発がん年齢に達している
- 佐賀県の肝臓専門医の数は限られている

C型肝炎手帳

佐賀県 連携手帳

()	/	()	/	()	メモ

P.2の医療機関の記号
を記入してください

C

検査結果（抗ウイルス療法）

検査結果を書き
写してください

リバビリンを服用した錠数を塗りつぶしてください

P.2の医療機関の記号
を記入してください

気づいたことなどを
自由にメモしてくだ
さい

メモ

佐賀県 運携手帳

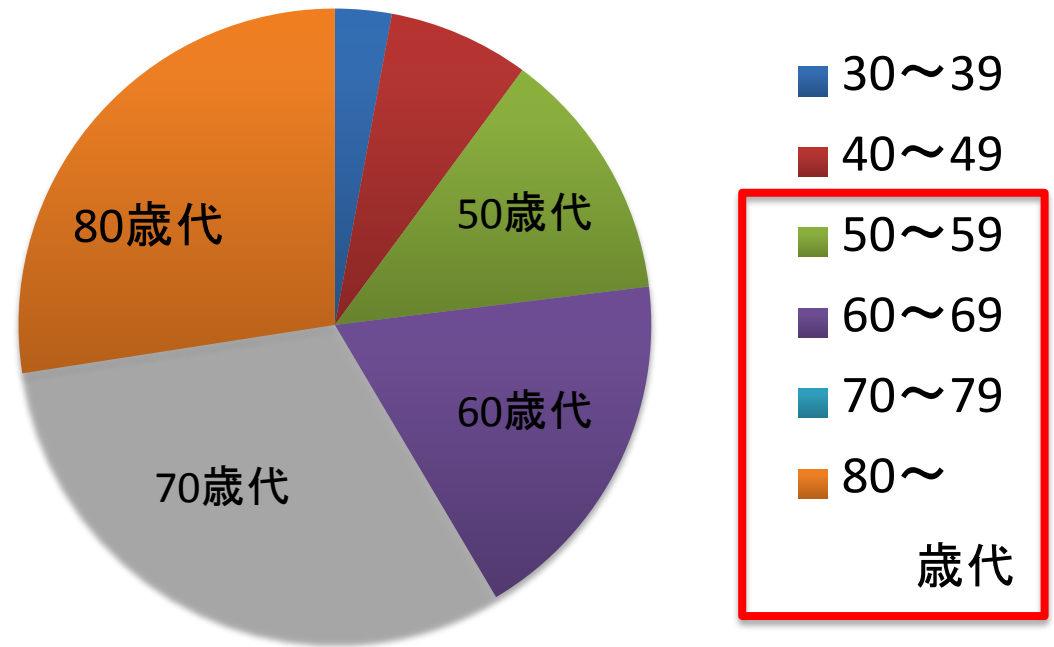
検査日	8/8 (水)	9/5 (水)	10/10 (水)
施設記号	A	B	A
週数	4	8	12
白血球 (好中球)	5600 /μL	6800	6200 (1652)
ヘモグロビン	1478 g/dL	検査結果を書き 写してください	15.2
血小板	15.4 × 10 ⁴ /μL	14.1	14.7
AST	32 IU/L	28	26
ALT	52 IU/L	48	38
γ-GTP	38 IU/L	30	24
アルブミン	3.9 g/dL	3.9	3.8
HBV-DNA	Logコピー/mL or LGE/mL	4.8	2.8
HBe抗原	(+) (-)	インターフェロン治療 の場合、薬剤名を記載 してください	(-) (-)
HBe抗体	(-) (+)		(-) (-)
インターフェロン ()	□万単位 □μg	□万単位 □μg	□万単位 □μg
核酸アナログ	エンテカビル		
AFP	12 ng/mL		
AFP-L3	%		
PIVKA-II	mAU/mL		10
画像検査 (エコー/CT等)	CT 慢性肝疾患		
備考		自由に利用して ください	

			メモ	
／ ()	／ ()	／ ()		
P.2の医療機関の記号を記入してください				
()	()	()		
気づいたことなどを自由にメモしてください				
インターフェロン治療の場合、投与量を記載してください			+	-
			+	-
□万単位 □μg	□万単位 □μg	□万単位 □μg		
核酸アナログ製剤による治療の場合、薬剤名を記載してください				

佐賀県のHCVキャリアは半数は 発癌年齢を迎えている

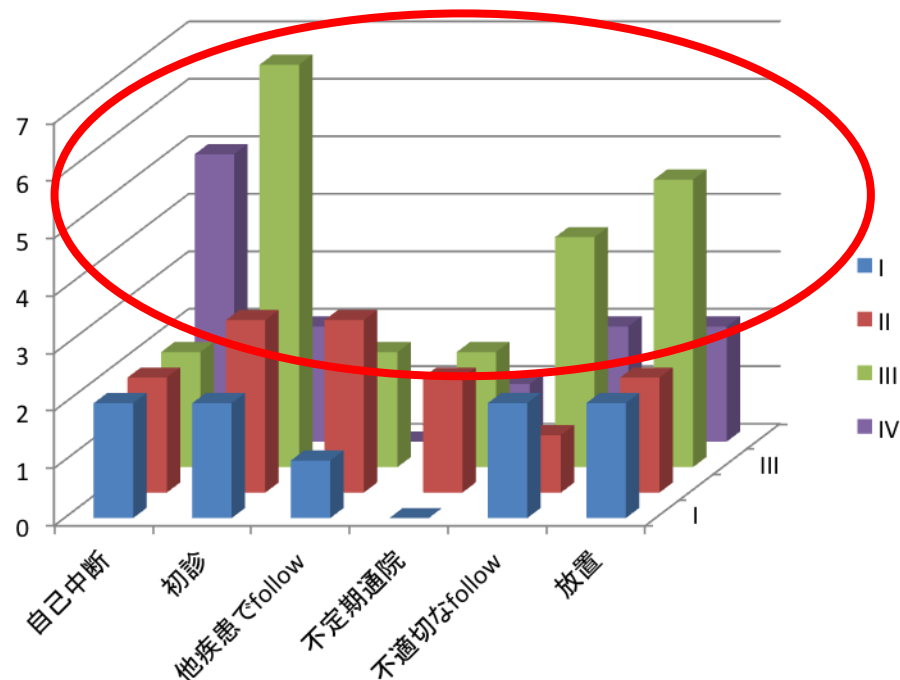
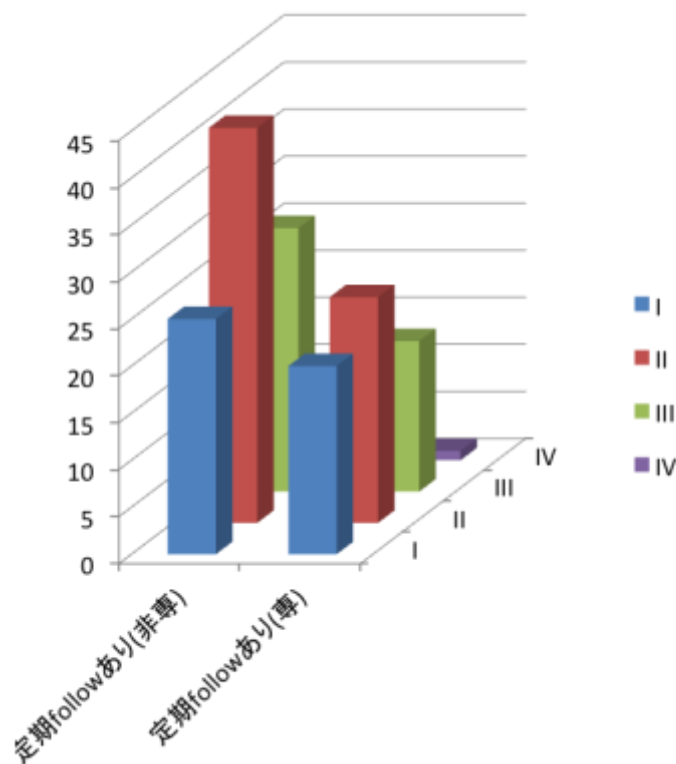
キャリア数（推定）

年齢階級	2010(男女計)
30～39	455 人
40～49	1136 人
50～59	2042 人
60～69	2902 人
70～79	4892 人
80～	4323 人
総数	15750 人



多くが50歳以上であり、年代層に見合った情報発信が必要

佐賀大学で肝細胞癌初回診断時のStage（HCV） （診断前受療形態別）



(1) 単発、(2) 2cm以下、(3) 脈管侵襲なし
 Stage I : (1) (2) (3) すべて合致、Stage II : 2項目合致、Stage III : 1項目合致

検査結果（肝庇護療法）

検査日	11/11	12/15	/
施設記号	B	A	
AST	IU/L 40	36	
ALT	IU/L 32	30	
γ-GTP	IU/L 46	35	
アルブミン	g/dL 3.2	3.8	
総ビリルビン	mg/dL 1.3	1.2	
血小板	× 10 ⁴ /μL 8	10.4	
HBV-DNA	Logコピー/mL or LGE/mL	2.6	
AFP	ng/mL 12		検査結果を書き 写してください
AFP-L3	% 1.0		
PIVKA-II	mAU/mL	15	
治療	強ミノ	1回 3 A × 週 3 回	1回 3 A × 週 3 回
	リナット	1日 3 包	1日 3 包
画像検査	☒ エコー: (12月15日) 肝硬変、肝内SOLなし、腹水なし		
	☐ CT: (月 日)		
	☐ 胃カメラ: (月 日)		
	☐ (): (月 日)		

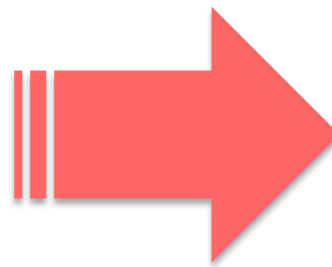
※灰色部分は医療機関にて記載してください

/	/	/	メモ
自由に利用してください			
医療機関にて、 治療の内容を記載してください			
□エコー: (月 日)			
□CT: (月 日)			
□胃カメラ: (月 日)			
□ (): (月 日)			

※灰色部分は医療機関にて記載してください

やるべきこと

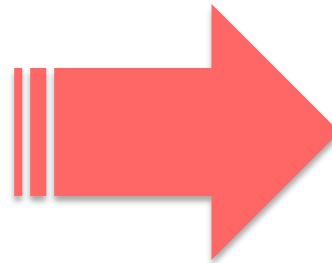
ウイルスキャリアを拾い上げ、抗ウイルス治療を行う



その結果の事象

F2の慢性肝炎で
10～15年後の発がん
を回避出来る

超高リスク群から早期に
肝がんを発見する

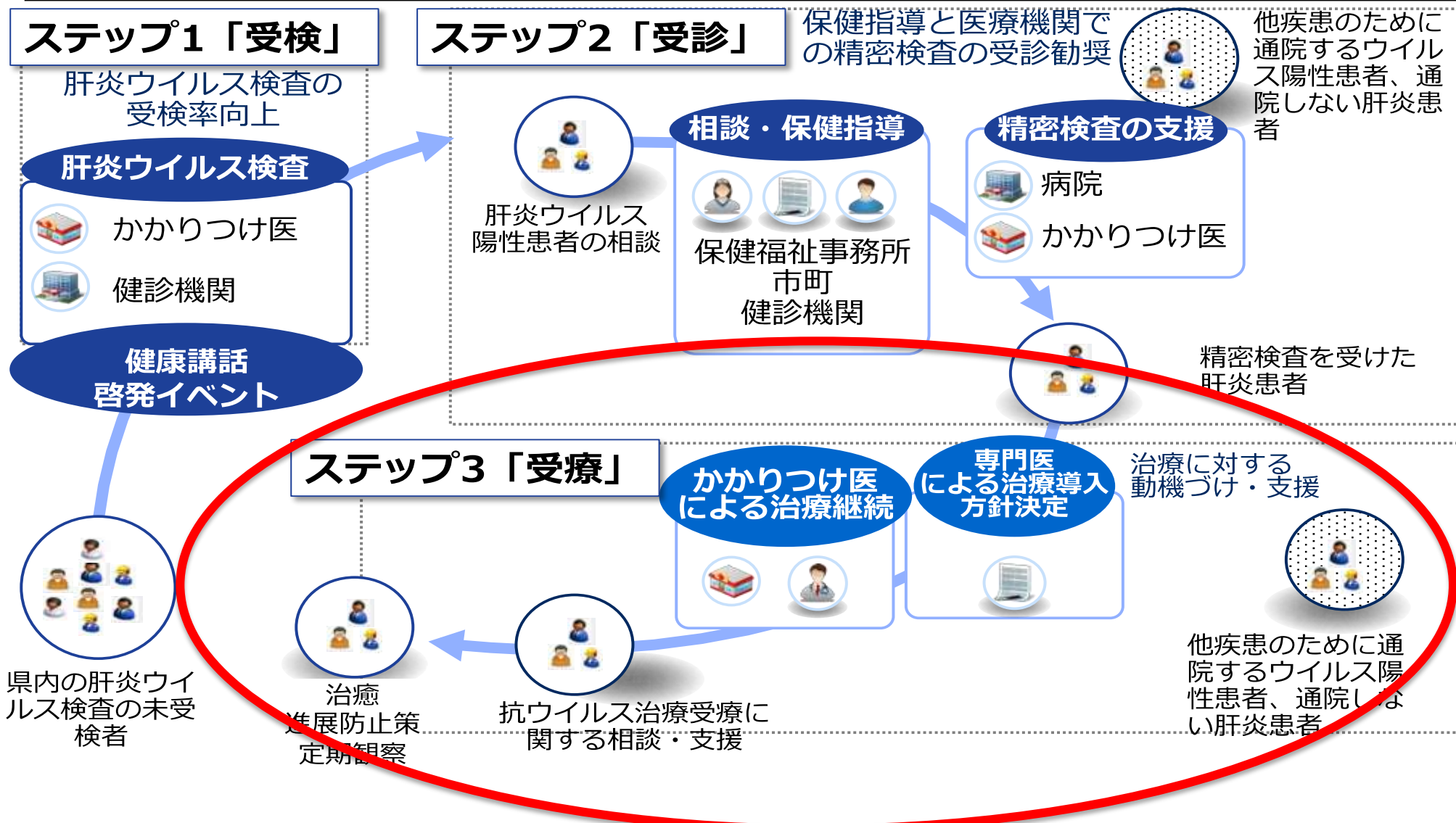


2年後の生存を
30%から70-80%へ

本日の内容

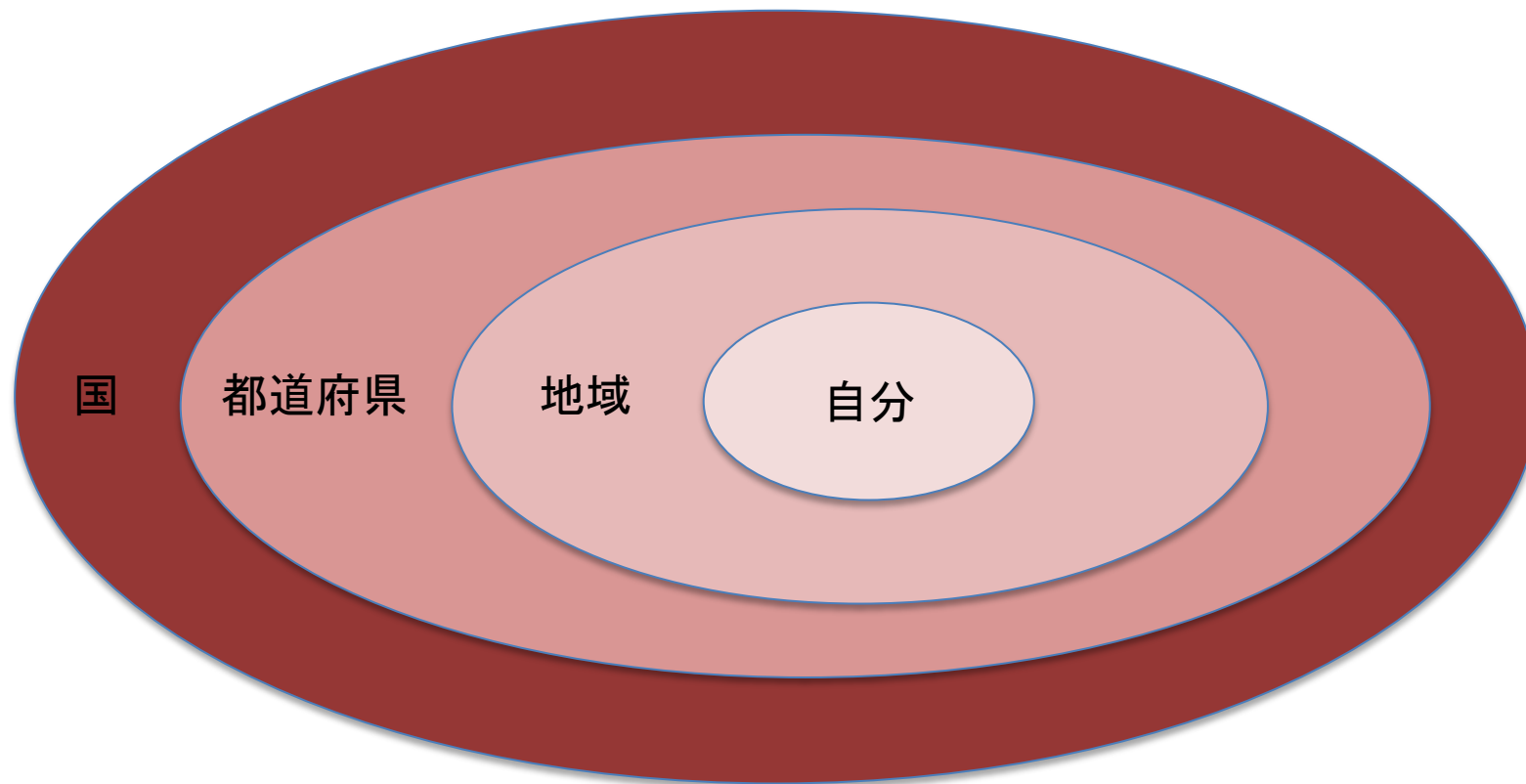
- 1 : 肝疾患における地域連携について
- 2 : 肝疾患診療連携拠点病院の役割
- 3 : 佐賀県での顔の見える地域連携の取り組み
- 4 : 拠点病院で働く看護師の役割

課題の可視化：肝疾患連携エコシステム： 「受検」「受診」「受療」の3ステップが進んで ようやく肝炎は減る



拠点病院で働く看護師の役割

明日からできること
部署内で共有してほしいこと



● 肝炎診療の均てん化・医療水準の向上をさらに全国的に推進するために

● 独立行政法人

● 国立国際医療研究センター

肝炎情報センター

肝炎診療の均てん化・医療水準の向上をさらに全国的に推進するためには、特に情報提供機能について都道府県の肝疾患診療連携拠点病院を支援するシステムが必要であり、その基盤整備が必要です。

また、肝炎については国内外で基礎・臨床研究が急速に進行していることから、情報をデータベース化して、定期的に情報をアップデートしていくことが重要となります。さらに、正確な情報を広く発信するシステム作りが必要となります。

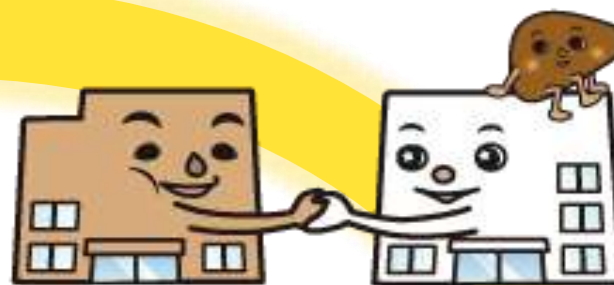
肝炎診療ネットワーク

- 都道府県連携拠点病院・専門医療機関
- 北海道
- 東北
- 関東・甲信越
- 東海



つながろう！拠点病院の輪！！

地域連携



多職種協働



院内連携



©2012 さが肝.net

ヒューマンネットワーク



第3期 佐賀地域肝炎コーディネーター研修会 修了式